

北海道リース株式会社

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

2025年8月29日

当社概要

- 北海道リース株式会社は北海道札幌市に本社を置き、北海道を営業エリアとし、主にリース・割賦事業を展開しています
- 『北海道に根ざした企業として、お客様とともに社会の発展に貢献する』という経営理念のもと、地域密着型経営にこだわり、幅広いサービスの提供を行っています

当社概要

社名	北海道リース株式会社
所在地	北海道札幌市
設立	1964年8月
資本金	500百万円
事業内容	リース事業、割賦事業
売上高	32,198百万円（2025年3月期）（単体）
社員数	95名（2025年3月期）
グループ	株式会社北海道銀行（当社グループは北海道銀行の持分法適用会社） 北海道リアルエステート株式会社（子会社） 株式会社ドリス

北海道銀行グループ



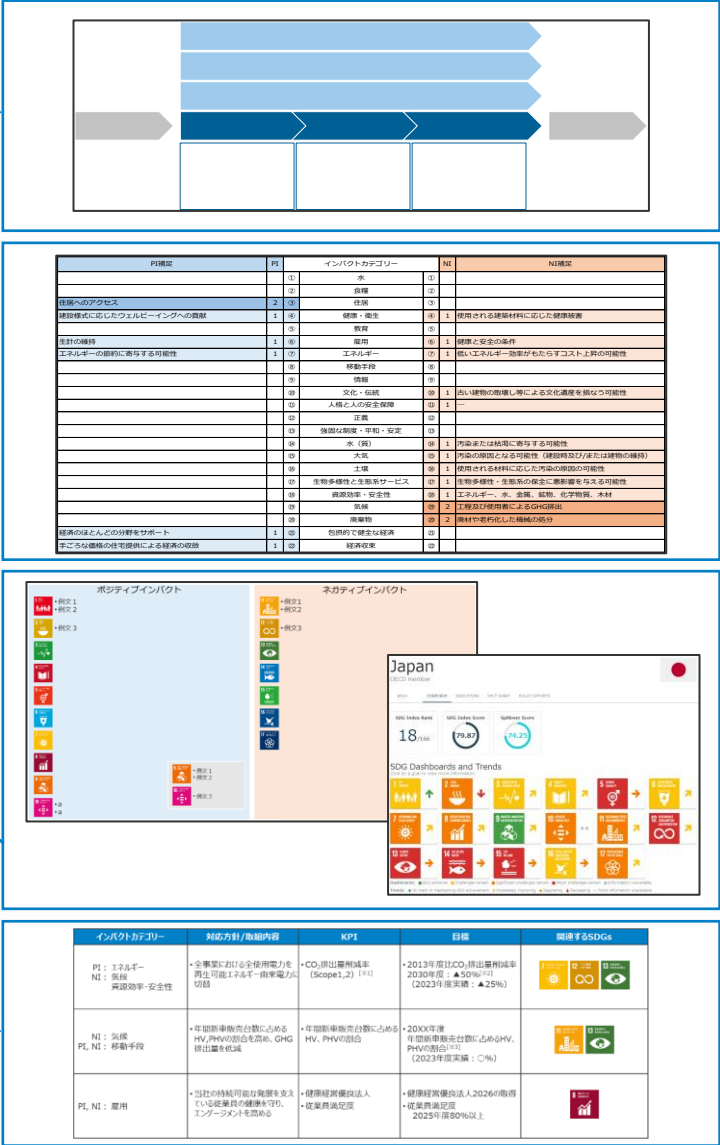
北海道リース



インパクト分析フロー

・ 下記のフローで当社グループのインパクト（環境・社会・経済に与える影響）を分析いたしました

工程		内容
①	バリューチェーン分析	当該事業が経済的価値を創出するに至るプロセス（製品・サービスの構想、製造、提供、消費等）を特定します。
②	インパクトマッピング	国際標準産業分類（ISIC）を用いて、業種別の一般的に想定されるポジティブ／ネガティブインパクトを確認します。
③	インパクトの特定	上記①②及びヒアリング結果等から当該事業のインパクトを特定の上、SDGs等社会的な要請との整合を確認します。
④	KPI・目標の設定	ポジティブインパクトが増大する、あるいはネガティブインパクトが抑制されるようなKPIと目標を設定します。



バリューチェーン分析（当社グループ事業：リース事業（ファイナンスリース、オペレーティングリース））

- 公表資料ならびに当社へのインタビューから、当社グループの事業分野のうち、リース事業（ファイナンスリース、オペレーティングリース）をバリューチェーン*分析の対象としました

*当社グループの事業活動が付加価値を生み出す一連の流れ

当社グループ事業：リース事業（ファイナンスリース、オペレーティングリース）

経営戦略：リース対象資産及び仕入先選定、販売戦略策定等

人材育成：健康経営優良法人の認定、各種研修の実施、ダイバーシティ推進、女性管理職の登用等

仕入・調達	リース契約	リース実行	リース満了
・リース対象資産の仕入・調達	・顧客ニーズに合わせたソリューション提案 ・申込受付 ・顧客信用調査	・リース対象資産の納入 ・リース料の回収 ・リース対象資産のメンテナンス	・再リース ・リース対象資産の回収（二次流通市場、オークション、廃棄処理）

インパクトマッピング (当社グループ事業：ファイナンスリース)

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：ファイナンスリース
⇒ ISIC：6491 金融リース業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 労働条件
		⑦	エネルギー	⑦	
		⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	
		⑮	大気	⑮	
		⑯	土壌	⑯	
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
		⑱	資源効率・安全性	⑱	
		⑲	気候	⑲	
		⑳	廃棄物	㉑	1 オフィスで発生する廃棄物
経済活動に貢献	1	㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング（当社グループ事業：オペレーティングリース（オートリース））

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：オペレーティングリース（オートリース）

⇒ ISIC：7710 自動車賃貸・リース業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	1 交通安全
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 労働条件
		⑦	エネルギー	⑦	
移動手段へのアクセスに貢献	1	⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	
		⑮	大気	⑮	1 大気汚染の可能性
		⑯	土壌	⑯	
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
レンタルとリースによる余分な原材料使用量の削減	1	⑱	資源効率・安全性	⑱	
		⑲	気候	⑲	1 化石燃料を使用した場合のGHG排出量
		⑳	廃棄物	㉑	1 オフィスで発生する廃棄物
		㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
		㉒	経済収束	㉒	

（凡例） PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (当社グループ事業：オペレーティングリース（土木建設機械、情報通信機器等）)

- ・ 特定した当社グループの事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）のマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：オペレーティングリース（土木建設機械、情報通信機器等）

⇒ ISIC：7730 その他の機械器具・有形財賃貸・リース業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー		NI	NI補足
		①	水	①	
		②	食糧	②	
		③	住居	③	
		④	健康・衛生	④	
		⑤	教育	⑤	
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1 労働条件
		⑦	エネルギー	⑦	
		⑧	移動手段	⑧	
		⑨	情報	⑨	
		⑩	文化・伝統	⑩	
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	
		⑫	正義	⑫	
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	
		⑭	水（質）	⑭	
		⑮	大気	⑮	
		⑯	土壌	⑯	
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	
レンタルとリースによる余分な原材料使用量の削減	1	⑱	資源効率・安全性	⑱	
		⑲	気候	⑲	
		⑳	廃棄物	㉑	1 オフィスで発生する廃棄物
経済活動に貢献	1	㉑	包摂的で健全な経済	㉑	
手ごろな価格による経済収束への貢献	1	㉒	経済収束	㉒	

(凡例) PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトマッピング (一覧)

			当社事業					
			ファイナンスリース		オペレーティングリース			
					オートリース		土木建設機械、 情報通信機器等	
インパクトカテゴリー			PI	NI	PI	NI	PI	NI
社会 入手可能性、アクセス可能性、 手ごろさ、品質（一連の固有の 特徴がニーズを満たす程度）	①	水						
	②	食糧						
	③	住居						
	④	健康・衛生				1		
	⑤	教育						
	⑥	雇用	1	1	1	1	1	1
	⑦	エネルギー						
	⑧	移動手段			1			
	⑨	情報						
	⑩	文化・伝統						
	⑪	人格と人の安全保障						
	⑫	正義						
	⑬	強固な制度・平和・安定						
環境 質（物理的・化学的構成・性質） の有効利用	⑭	水（質）						
	⑮	大気				1		
	⑯	土壌						
	⑰	生物多様性と生態系サービス						
	⑱	資源効率・安全性			1		1	
	⑲	気候				1		
	⑳	廃棄物		1		1		1
経済 人と社会のための経済的価値創造	㉑	包摂的で健全な経済	1				1	
	㉒	経済収束					1	

（凡例） PI：ポジティブインパクト、NI：ネガティブインパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

SDGsとの関連性（当社グループ事業：ファイナンスリース）

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

当社グループ事業：ファイナンスリース

⇒ **ISIC：6491 金融リース業**

ポジティブインパクト



- ・経済活動に貢献



- ・生計の維持
- ・経済活動に貢献

ネガティブインパクト



- ・労働条件



- ・オフィスで発生する廃棄物

SDGsとの関連性（当社グループ事業：オペレーティングリース（オートリース））

- 環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

当社グループ事業：オペレーティングリース（オートリース）

⇒ **ISIC：7710 自動車賃貸・リース業**

ポジティブインパクト



- レンタルとリースによる余分な原材料使用量の削減



- 生計の維持



- 移動手段へのアクセスに貢献



- レンタルとリースによる余分な原材料使用量の削減

ネガティブインパクト



- 交通安全
- 大気汚染の可能性



- 労働条件



- オフィスで発生する廃棄物



- 化石燃料を使用した場合のGHG排出量

SDGsとの関連性（当社グループ事業：オペレーティングリース（土木建設機械、情報通信機器等））

- ・環境省のインパクトファイナンスの基本的考え方を参考に、インパクトがあると判定されたカテゴリーについて、SDGsとの関連性を下図の通り整理しました

当社グループ事業：オペレーティングリース（土木建設機械、情報通信機器等）

⇒ ISIC：7730 その他の機械器具・有形財賃貸・リース業

ポジティブインパクト



- ・手ごろな価格による経済収束への貢献



- ・経済活動に貢献



- ・レンタルとリースによる余分な原材料使用量の削減



- ・生計の維持
- ・経済活動に貢献



- ・レンタルとリースによる余分な原材料使用量の削減



- ・手ごろな価格による経済収束への貢献

ネガティブインパクト



- ・労働条件



- ・オフィスで発生する廃棄物

KPI・目標の設定について

- 以上のような分析結果を基に、インパクトマッピングにより特定されたインパクトについて、当社グループが定めるSDGsの達成に向けた取組み等との整合性を踏まえ、KPI・目標を以下のように選択し、設定しました
- 目標に対する実績の進捗、新たな目標値の設定については年次モニタリングで確認します

インパクトカテゴリー	対応方針/取組内容	KPI	目標	関連するSDGs
PI: 移動手段 資源効率・安全性 NI: 大気 気候	•HV 等車両※の導入による顧客の 環境負荷低減への取組み支援	•HV 等車両の成約件数	2021年度から2023年度成約台数の3期平均 (354台)を基準とし、2028年度まで毎年度 2%程度以上の成約件数を増加 (2024年度実績：521台(47.2%))	    
PI: 資源効率・安全性 包摂的で健全な経済 経済収束 NI: 大気 気候	•生産性向上やサービスの高度化に つながる設備の導入をリースにより 支援し、地域社会に貢献する	•ESGリース取引	定性的な目標としてモニタリング	       

(凡例) PI：ポジティブインパクトの拡大、NI：ネガティブインパクトの抑制
※電気自動車（EV）・燃料電池自動車（FCV）・ハイブリッド自動車（HV）・プラグイン・ハイブリッド自動車（PHEV）



ご留意いただきたい事項

- 本評価書の内容は、あおぞら銀行がその裁量により信頼できると判断した現時点で入手可能な公表資料や借入人へのヒアリングを通じて収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估し作成されたものですが、あおぞら銀行は、当該情報の正確性、適時性、網羅性、完全性及び特定目的への適合性その他一切の事項について表明または保証するものではなく、当該情報を使用した結果について一切の責任を負いません。
- あおぞら銀行は、法律、会計、税務等の専門的資格を求められる内容に関しアドバイスをを行う立場にありません。これらの専門的内容等につきましては、独立したそれぞれの専門家にご相談願います。
- 本評価書に係る一切の権利はあおぞら銀行が保有しています。本評価書の全部または一部をあおぞら銀行に無断で複製、翻案、改変等することは禁止されています。